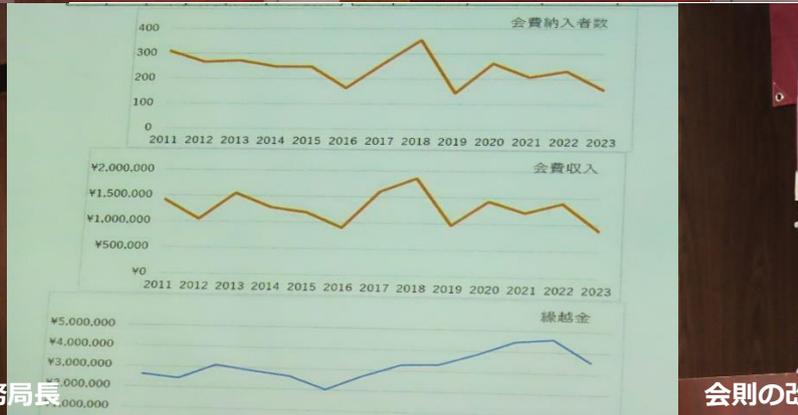
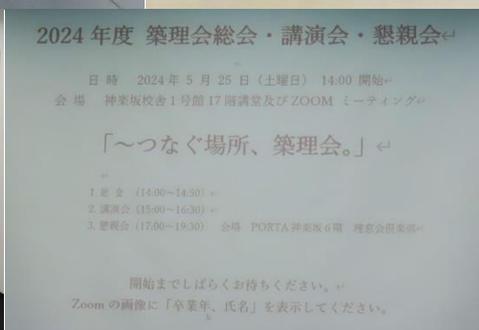


2024年度 築理会総会・講演会・懇親会

2024.05.25 総会・講演会：神楽坂校舎1号館17階講堂 + Zoom

懇親会：PORTA 神楽坂 理想会倶楽部 + Zoom



現行	改正(案)	第4号議案
<p>第2章 会員</p> <p>第4条 (会員区分・資格) 本会は普通会員、特別会員をもって構成し、その資格は次に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 普通会員：東京理科大学工学部1部、2部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース卒業生並びに東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。 2) 特別会員：普通会員以外の現職職員、元教職員で本会の趣旨に賛同しかつ常任幹事会で承認された者。 <p>第6条 (義務・権利) 普通会員は毎年定められた時に会費を納入する。会費を納入した普通会員は、本会の定める年度の会員としての権利を得る。又、特別会員でも会費を納入すれば本会の定める年度の会員としての権利を得ることできる。</p>	<p>第2章 会員</p> <p>第4条 (会員区分・資格) 本会は普通会員、特別会員及び学生会員をもって構成し、その資格は次に定める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 普通会員：東京理科大学工学部1部、2部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース卒業生並びに東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。 2) 特別会員：普通会員以外の現職職員、元教職員で本会の趣旨に賛同しかつ常任幹事会で承認された者。 3) 学生会員：普通会員以外で東京理科大学工学部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース並びに東京理科大学工学部建築学科以外から入学した東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻の在学学生 <p>第6条 (義務・権利) 普通会員は毎年定められた時に会費を納入する。但し普通会員のうち東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻の在学学生は、在学期間中の会費を免除する。会費を納入した普通会員は、本会の定める年度の会員としての権利を得る。又、特別会員、上記在学学生でも会費を納入すれば本会の定める年度の会員としての権利を得る</p>	<p>2024年度活動計画と役員</p> <p>学生会員制度の導入に伴い、学科との連携をより一層深めるとともに、在学生にも築理会活動への参加を促します。クラウド化した会員情報データベースの個人入力を呼びかけ、会員情報の再構築を目指すと共に、秋より Web 名簿の運用開始を目指します。現在中断しているメールマガジンの再開など、会の活性化と会員同士の許・ネットワークがより一層深まることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Web 名簿システム運用を開始する。 2. 事務局作業の一部について外部委託を検討(継続課題)する。 3. 会費の納入を広く呼びかけ、また会費納入方法の検討を行う。財務の安定化を図るとともに、活発な会員活動への支援体制を築く。 4. 情報広報委員会は、会報誌(春・秋)・ホームページ・Facebookなども利用して、会員の輪を広げてゆく。休止中のメルマガの再開を目指す。また、会員の活動発表の場としてフューチャーフォーラムを開催する。 5. 活性化委員会は、各種イベント(HCD、新年会等)に加え、地域会や企業内の会員活動を顕在化して支援してゆく。また会員のグループ活動なども広めてゆく。 6. 学科連携委員会は、昨年採択した大学との「共同宣言」をもとに、学生会員制度の周知や軌道に乗っているリボン支援やOB・OG交流会「先輩と語る」などに加えて、新しい企画や社会人コースとの連携なども模索する。 7. 昨年立ち上げた、JIA 新宿地域会共催の学生コンペを継続開催する。



第1号議案～第5号議、全て賛成多数で総会終了。

講演会

講演者：戸梶 大氏（1996年卒） 墨田区都市計画部建築指導課課長



司会進行 安達副会長

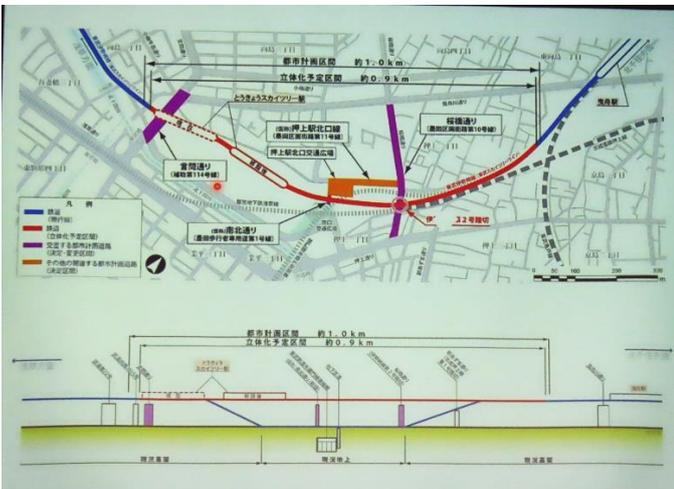
戸梶さんの紹介①

- 1970年今治市に生まれ、松山市に育つ。愛媛県立松山東高等学校(小説「坊ちゃん」の舞台として有名な旧制松山中学を前身とする。)を卒業後、1989年から東京理科大学で電気工学、建築学を学ぶ。
- 1996年4月に墨田区役所に入庁し、不燃化助成や建築行政を経験後、営繕課へ。当課在籍中に早稲田大学大学院公共経営研究科に派遣され、ファシリテイマネジメントに出会う。大学院修了後、17年にわたり区における公共施設マネジメント推進を牽引した。この取り組みは、2023年に実施された「第18回日本ファシリテイマネジメント大賞 (JFMA賞)」において、優秀ファシリテイマネジメント賞を受賞。併せて、公共施設マネジメント担当課長時代に取組んだ北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業では、公共空間の活用方針を策定し、国土交通省が主催する令和2年度「かわまち大賞」における大賞受賞にも貢献した。
- 現在は、立体化・まちづくり推進担当 立体化推進課長として東武スカイツリーラインの鉄道連続立体交差事業でインフラ整備を経験したのち、20年ぶりに建築指導課長として建築行政に取り組んでいる。また、令和4年10月からは東京大学大学院修士課程工学系研究科都市工学専攻都市持続再生コース(通称：まちづくり大学院)にて、まちづくりについて、学び直しに奮闘中。

2024年度 築理会総会 講演会
「思い」をつないで
墨田区における公共施設マネジメントの取組みを中心に
戸梶 大氏



戸梶 大氏



■ 一体的空間づくりに向けた調整

「北十間川周辺公共空間の活用方針」

水と緑のサードプレイス

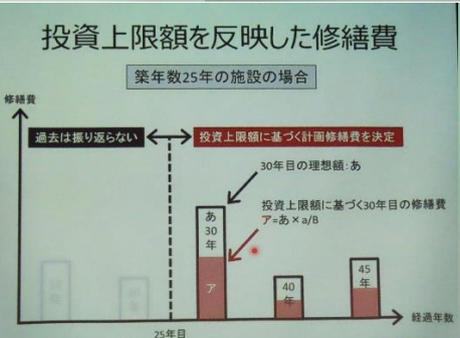
第18回 日本ファシリティマネジメント大会
JFMA賞2024

優秀ファシリティマネジメント賞受賞
(令和5年12月)

2023年12月13日、JFMA会館において入賞発表式を開催。

恩師である北川先生が審査委員長
第1回～11回まで沖地先生が審査委員長

民間事業者と並んで受賞



さいごに

「公共」とは、何か？
「行政」の役割とは？
「公務員」とは何者か？

・・・べき。・・・もんだ。
からの脱却



懇親会

PORTA 神楽坂 理想会倶楽部 + Zoom



懇親会受付



開会



司会進行 天神副会長・三浦博範さん



石橋会長 開宴挨拶



乾杯挨拶 森本仁さん



乾杯



理想会副会長 山崎さん



「リボン」紹介 神尾凜也さん(M1)

「リボン」について

- 東京理科大学工学部建築学科の作品集
- 理工大工学部の本「理本」と、学年の垣根を超え、OB・OGの方々と理工大建築の歳月をつなぐという2つの意味が込められている
- 2006年から始まり、今年で19年目

概要

- コンセプト : 「交差」
- サイズ : B5判
- 頁数 : 160P程度
- 支出 : 約1,100,000円想定
- 内容 : 2023年度卒業制作/2023年度修士設計各学年設計課題優秀作品 各研究室の活動紹介など



リボン委員紹介



築理会担当 千葉七花さん



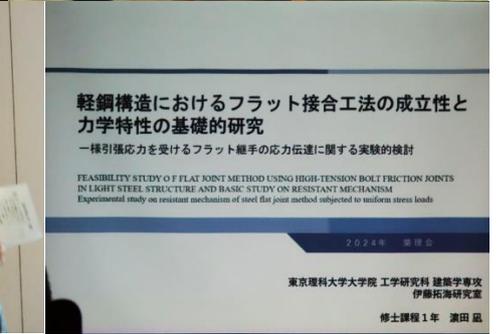
築理会賞受賞者紹介



論文賞:濱田凪さん



選定理由説明



軽鋼構造におけるフラット接合工法の成立性と力学特性の基礎的研究

一様引張応力を受けるフラット継手の応力伝達に関する実験的検討

FEASIBILITY STUDY OF FLAT JOINT METHOD USING HIGH-TENSION BOLT FRICTION JOINTS IN LIGHT STEEL STRUCTURE AND BASIC STUDY ON RESISTANT MECHANISM

Experimental study on resistant mechanism of steel flat joint method subjected to uniform stress loads

2024年 築理会

東京理科大学大学院 工学研究科 建築学専攻 伊藤拓海研究室 修士課程1年 濱田 凪



質疑応答



卒業設計賞:鶴岡千里さん



旅人の足跡

4120073 鶴岡千里



1-1. 東海道の石畳

鶴岡 千里 (1/25)



質疑応答





卒業設計賞:高橋武雄さん



質疑応答



野田建築会会長 菱崎嘉昭さん



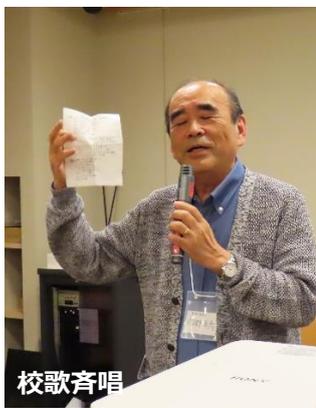
今本先生



倉淵先生



宇野先生



2024 年度 築理会総会 懇親会

